

平成30年度ぎふ清流未来の会議 開催結果

森・里・川・海で環境学習に取り組む子どもたちが、世代や分野を越えて、森・里・川・海のつながりを踏まえた交流の促進を図ることを目的とした「ぎふ清流未来の会議」を平成30年12月8日(土)に世界淡水魚園水族館アクア・トトぎふで開催しました。

当日は、小・中・高等学校の児童・生徒83名が参加し、成果発表や交流プログラムを行いました。

環境学習交流会

日頃の環境学習・環境保全活動について、県内外の小中高等学校(5校・83名)が発表しました。

県内の小中高等学校が森・里・川での活動について、また、三重県から参加の三重中学校・三重高等学校が森・海での活動について、小グループに分かれてお互いに発表し合い、交流を行いました。

発表・交流後には、アクア・トトぎふの河合学芸員から講評をいただきました。

参加校の発表テーマ

森

関市立津保川中学校 1年生

テーマ：“100年先の森林づくりのために”



里

岐阜県立岐阜農林高等学校 環境科学科

テーマ：“水田魚道を活用した水田生態系の再生と保全”



里

恵那市立三郷小学校 6年生

テーマ：“自然の繋がりを守っていくために私たちにできること
～三郷町～”



川

郡上市立吉田小学校 5年生

テーマ：“大好き！美並の自然”



森・海

三重中学校・三重高等学校 科学技術部

テーマ：“私たちが地元の松名瀬干潟で行っている環境教育と
伝えたい思い”



グループ交流



講評



昼食

山・里・川の幸として岐阜県の食材、海の幸として三重県の食材を使ったお弁当をいただきました。



貝でつながるプログラム

生き物と参加者がつながるプログラムとして、三重中学校・三重高等学校の協力を得て、貝の浄化実験と貝のキーホルダーづくりを行いました。

浄化実験セット



キーホルダーづくり解説



キーホルダー作成



館内見学



キーホルダー仕上げ



浄化実験結果

